

凡 例

- 1) この「全国・民具名称対応表」は、『国際常民文化研究叢書 6 一民具の名称に関する基礎的研究— [民具名一覧編]』(神奈川県 国際常民文化研究機構 2014) (以下「第 6 巻」と記す) で作成した「民具名一覧」に、地域ごとの代表的な民具の呼称(方言名)をそれぞれの項目ごとに書き加えたものである。
- 2) 本表の地域欄には、日本国内の 9 カ所の地域のコレクションを基礎資料として、それぞれの方言名を抽出して列挙することを準備したが、「川崎」については「川崎の漁撈具」のコレクションを基礎資料にしたため、漁具に限られて民具全般のリストとならなかったため、全国表に地方欄を設けなかった。また、海外の民具(イラン・韓国)については、本表の項目の選定と解説が、海外の民具を意識して設定したものになっていないので、地域欄として並べることは控えることとした。
- 3) 「名称」(アイコンのイラストを含む)、「説明」および「さまざまな呼称」欄は、第 6 巻のものを踏襲している。
- 4) 全国表の各地の呼称欄は、【地域別民具一覧】を元に抽出しているが、元資料とした地域ごとのコレクションには事例がない場合も、表作成を担当したメンバーが地域における研究で得た情報から、記載可能なものについては、なるべく書き込むようにした。これらについては、今後、地域の博物館の所蔵資料などで、個別に検証が可能な資料で置き変えていけるとよい。
- 5) 地域の呼称のあり方が複雑で、ひとつの名称を設定することが困難なものについては、主要な呼称を列挙した場合もある。
- 6) 地域欄の右端に備考欄(空欄)を設けた。読者の地域の民具名などを記入いただけることを考えて用意したものである。ご活用いただければ幸いです。
- 7) 第 6 巻では名称収集の枠組みとして、「諸職の用具」「通信・交易・旅の用具」の項目を設けたが、今回選んだ地域ごとの情報にバラつきが大きく、系統的な収集ができなかったことと、紙幅の都合で割愛した。

目 次

農耕用具	p. 387	手工用具	p. 416
畜産用具	p. 399	運搬用具	p. 417
山樵用具	p. 401	衣の用具	p. 421
漁撈用具	p. 403	食の用具	p. 431
狩猟用具	p. 410	住の用具	p. 442
養蚕用具	p. 412	灯火具	p. 451
紡織用具	p. 414		